



1月 てつなぎ



◇あけましておめでとうございます◇

2021年の新しいスタートです。今年も子どもたちの健やかな成長を願い、職員一同気を引き締め、保育を進めていきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。

さて、正月の休みはいかがでしたか。コロナ禍の中でいつもとは違ふ新年を迎えたのではないのでしょうか。感染予防にも努めながら、新しい生活スタイルを見つけていきたいと思ひます。

今月は、こま、かるた、たこあげなど正月ならではの遊びを楽しみたいと思ひます。

今年度も残すところあと3か月となりました。1年の締めくくりの時期として、子どもたちの成長を見守り、今まで身につけてきたことを確認し、足りない点を見直しながら、「もうすぐ大きい組」「もうすぐ1年生」と、期待と自信が膨らむよう保育園生活が送れるように、関わっていきたくと思ひます。



冬の朝は、布団の中がより恋しい時。もう少し寝ていたいという気持ちを振り払って、思い切ってエイッと起きてしまいましょう。きっと気持ちの良い朝が待っていますよ！



1月行事予定

- 1日(金)…元日
- 4日(月)…保育始め
- 7日(木)…英語教室
- 8日(金)…新年お楽しみ会
- 11日(月)…成人の日
- 12日(火)…避難訓練
- 13日(水)…体操教室
- 15日(金)…防犯訓練
- 20日(水)…発育測定(未満児)
- 21日(木)…発育測定(以上児)
- 22日(金)…誕生会



想像する力は幼児期に伸びます。

赤ちゃんは見立てたり、つもりになって遊ぶことができません。1歳の後半ごろから、遊びの中に想像が少しずつ生まれ、3歳を過ぎると友達とイメージを合わせてごっこ遊びをするようになります。

1歳半～4歳ごろは想像力がぐんぐん育つ時期

- ・物を何かに見立てる。
- ・何かをやっているつもりになる
- ・やたらにひとりごとが多い
- ・ごっこ遊びが大好き

想像力はこんな力へとつながっていきます。

- ・思考する。
- ・相手の気持ちを推理する。
- ・自分の思いがある
- (情報を応用する)
- (自分の経験を他人に応用する)



想像力が未発達なままだと……

- ・融通がきかない、こだわりが強い。
- ・言われたことしかできない。
- ・習ったこと、体験したこと以外はわからない
- ・自己中心的、相手の立場で考えることが難しい。
- ・自分で遊びや楽しみをつくり出すことができない。
- ・感謝や共感の気持ちがわからない。



子どもは遊びながら想像力を伸ばします。

想像力が伸びる時期の子どもは、盛んにひとりごとを言いごっこ遊びを繰り返します。人形一つで豊かに遊ぶことができるのが、この時期の子どもです。想像力が十分に伸びた子どもには、やがて知識欲の時代がやってきます。

想像力を伸ばす大人とは



- ・お友達ママ……「さあ、包丁できりましょう」「ケーキをたべるわね」自分も子どもになって一緒に遊んじゃう。
- ・見守りママ……飽きたとき、求めてきたときに、ちょこっとアドバイス。
- ・のんびりママ……子どもの遊ぶ姿がだーいすき。早期教育には興味なし。ひらがなや、数、漢字などは、子どもが興味を持ったときや、生活の中で自然に教えようと思っている。(操作しにくいイメージを与えすぎると、想像力の発達を妨げる場合もあります。)

高山静子著 『子育て支援ひたまり通信』遊びとつけの上手なコツより